

# 平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 6 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日)

特定非営利活動法人日本・ネパール文化交流倶楽部

## 1. 事業の成果

この法人は、日本とネパールの国際交流を通じ、相互の異文化理解を実現することを目的として、異文化間交流や生活支援に関する事業活動に取り組んでいます。仙台市宮城野区のネパール料理店「カトマンドゥ」に事務所を設置し、ネパールの食文化や活動の写真を紹介すると同時に常時、情報公開・収集・広報・会議などあらゆる活動の拠点として機能しております。

事業の柱の一つであるネパール交流ツアーでは、現地世界遺産めぐりや交流イベントの他に、参加者と現地ネパール人の文化・生活に触れていただくことで、相互の友好関係の構築に取り組んでいます。25 年度は 1 回実施し、参加した 7 名はネパールへの興味関心がより一層高まり、帰国後も当法人の活動やネパールに対しより深い理解と関わりを持っていただけるきっかけになったのではないかと実感しました。

国際支援事業に関しては、事業開始後 4 年目で、当事業を通じ日本の支援で引き続き通学ができるようになった子供は 100 人を超え、25 年度は 112 名分の支援を届けることが出来ました。まだネパールの様々な社会的背景から、手助けが無いと教育を受けられないまま大人になる子供たちが大勢いる事実を踏まえ、今後も継続・発展していく事業です。

前年より報告会等で議題に挙がっている、現地の交流拠点の建設や職業訓練所の設立事業に関しては、特に進展はありませんでした。今後も寄付や賛同者を募り、出来るだけ早く具体化・実現を目指していく予定です。

こういった活動を経て、ネパールの親日家が多い国民性や、ヒマラヤ山脈などの自然が豊かな国ならではの良さを理解していただき、結果として、日本でも今後増え続けるであろう留学生や出稼ぎで来る方々をスムーズに受け入れられるコミュニティーの構築へ貢献できればと思います。

## 2. 特定非営利活動に係る事業

### (1) 国際文化交流・普及事業

#### ① ネパール交流ツアーの開催 (1 回)

・4 月、理事長の案内でネパールの首都カトマンドゥと第 2 の都市ポカラを巡る 6 日間のツアーが開催されました (7 名参加)。第 1 回目のツアー(2007 年)より交流ツアー参加者総数は 56 名となり、そのうち 9 名の方が学費支援するネパールの子供たちと直接交流を持ちました。

#### ② 在日ネパール人との交流会・親睦会の開催、地域のイベント参加 (3 回)

・7 月仙台市青葉区にて NPO 法人設立パーティーを開催。役員をはじめ正会員や留学生、地域の賛同者等計 30 名の参加があり、感謝の気持ちと今後の方針などを伝えることが出来ました。

・9月、仙台市国際センターで毎年開催される、「地球フェスタ」に初参加しネパール写真展を開催しました。約3,800人来場し、写真展と同時開催した物販ブースともに好評をいただき、NPO法人としてのPRと募金活動の足掛かりになりました。

・また9月、仙台の企業で働くネパール人研修員を交え、仙台市若林区にて芋煮会を開催しました。会員等13名の参加があり、楽しいひと時と親睦を深めることが出来ました。

### ③ 講演・出前授業の実施（2回）

6月に仙台第一学院高校の地域連携授業での講師、また11月には仙台市立向山小学校6学年への講演依頼があり、副理事長が“国際交流”“異文化理解”そして“国際協力”をテーマに授業を行いました。仙台在住元留学生のネパール人も同行し話をしてもらい、ネパールをより身近に感じられた等といった感想を数多くいただきました。

## (2) 国際支援事業

### ① フューチャーフラワー基金募集の実施（年2回）現地調査・教育支援の普及活動

・年2回の新たな学費支援の募集と継続更新手続き、面接、支援金の受け渡しといった一連の活動を無事行いました。10月と3月にネパール・ダディン郡にて面接をそれぞれ行い、第8期は8名、第9期は7名の学生が選出され、期末までで日本の支援者89名、ネパールの児童112名になりました。

辞退した子供と支援者はそれぞれ、3名と1名です。

・また、4月、副理事長がダディン郡のサルヤンコット村（支援を受ける子供3名）を初訪問し、視察、交流、家庭訪問、村人への教育支援への周知などを実施しました。支援を受ける多くの子供たちが暮らすマイディ村も訪問を予定していましたが、乾季による厳しい水不足、ホームステイ先の住民の体調不良、滞在場所の確保など困難な状況が重なり、延期となりました。ますますマイディ村における交流拠点“交流の家（仮）”の必要性を実感しました。

### ② 報告会の実施

12月に仙台市宮城野区にて第8期フューチャーフラワー基金報告会を行い、留学生含む11名が参加、学費支援を受ける子供たちが置かれる緊迫した家庭環境への理解を深めました。

### ③ 日本で生活するネパール人、留学生への生活支援活動に関しては、事務局カトマンドゥにて随時、理事長、副理事長が対応し行いました。具体的な支援要請などは無く、事務所に来所した留学生は、慣れない日本での生活や就職に関する相談が主で、他に情報交換の為に来る方もいました。

（計15名程度）

## 3. 実施体制などに関する事項

### (1) 総会の開催状況

設立初年度により社員総会の開催はなし。

### (2) 理事会及び監査の開催状況

・平成25年7月21日 第一回理事会

会場：ハーネル仙台

出席：全役員4名参加（他正会員5名参加）

内容：組織のビジョンと活動内容の確認、社員（正会員）紹介・顔合わせ

(3) 会員に関する事項（平成 25 年度末現在）

- ・社員（正会員）数：10 人（個人 10 人）
- ・賛助会員数：92 人（個人 92 人、内 25 年度新入会員数：21 人）

(4) 役員に関する事項（平成 25 年度末現在）

- ・理事長 ARYAL SHANJIB（アリアル サンジブ）
- ・副理事長 鈴木 涼子
- ・理事 吉田 勉
- ・監事 片上 尚男

(5) 事業に参加したボランティアに関する事項（平成 25 年度）

- ・ボランティア参加者数：述べ 11 人
  - 内訳：国際文化交流・普及事業：述べ 6 人（展示用写真準備、イベントの世話役、買い出し、雑務手伝いなど）
  - 国際支援事業：述べ 5 人（ネパールでの案内、報告会手伝い等）

(7) 情報発信体制に関する事項

- ・ホームページ <http://japanxnepal-club.com>
- ・活動ブログ <http://japanxnepal.blog83.fc2.com>
- ・会報誌「パイラ～歩み」の発行（年 1~2 回）、報告書の作成・送付（年 1~2 回）—500 部ずつ発行